

事業報告書

令和2年5月19日

学校法人 杉野学園

目 次

I 学校法人の概要

1	主要な運営指標等の推移	1
2	建学の精神と使命	3
3	沿革	4
4	学校法人杉野学園 組織・附属機関等	5
5	学部・課程・学科・科別収容定員・入学定員・入学者数等及び学位授与数	8
6	入試に関する状況	11
7	就職・進学等の状況	13
8	検定試験に関する状況	14
9	教員数等	16
10	役員の状況	17

II 令和元年度事業概要

		18
--	--	----

III 財務の概要

(1)	資金収支計算書	24
(2)	事業活動収支計算書	27
(3)	貸借対照表	29

I. 学校法人の概要

本学校法人杉野学園は、教育基本法及び学校教育法に従い、建学の精神に則った学校教育を行い、服飾に関する有為な人材を育成することを主たる目的としております。

この目的を達成するために設置された本学校法人杉野学園の令和元年度における概要は以下のとおりであります。

1. 主要な運営指標等の推移

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
学生在籍者数（単位：名）					
杉野服飾大学大学院	9	10	8	4	5
杉野服飾大学	739	714	690	760	788
杉野服飾大学短期大学部	84	91	87	82	83
杉野幼稚園	89	84	86	65	75
ドレスメーカー学院	183	214	195	195	186
ドレスメーカー学院通信教育部	168	168	-	-	-
入学志願者数（単位：名）					
杉野服飾大学大学院	8	4	8	3	6
杉野服飾大学	242	220	251	306	305
杉野服飾大学短期大学部	52	57	49	46	48
杉野幼稚園	36	22	27	15	32
ドレスメーカー学院	72	109	73	87	84
ドレスメーカー学院通信教育部	-	-	-	-	-
教職員数（単位：名）					
法人本部	4	3	3	3	2
杉野服飾大学	157	139	145	147	165
杉野服飾大学短期大学部	33	31	31	30	24
杉野幼稚園	13	14	13	11	10
ドレスメーカー学院	35	31	36	38	45
ドレスメーカー学院通信教育部	1	1	-	-	-
事業活動収入（単位：百万円）	1,532	1,446	1,410	1,475	1,500
事業活動支出（単位：百万円）	1,682	1,631	1,573	1,538	1,538
資金収入（単位：百万円）	1,828	1,956	1,756	1,851	1,751
資金支出（単位：百万円）	1,910	1,954	1,812	1,880	1,821
借入金残高（単位：百万円）	874	750	626	547	423

(単位：%)

比率	算式	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	△9.8	△ 9.8	△ 11.5	△ 4.3	△ 2.5
基本金組入後収支比率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入計-基本金組入額}}$	110.7	110.7	113.2	110.7	105.2
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入 ※1}}$	73.6	79.4	77.5	78.5	79.5
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入 ※1}}$	58.3	57.6	59.7	54.1	55.2
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入 ※1}}$	34.7	37.2	35.2	34.0	31.3
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入 ※1}}$	15.8	15.9	16.3	16.0	15.9
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	129.9	132.6	115.9	108.1	105.7
負債率	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	37.7	34.9	35.0	34.1	30.6
純資産構成比率	$\frac{\text{純資産}}{\text{負債+純資産}}$	72.6	74.1	74.1	74.6	76.5
基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	97.1	97.1	97.3	97.4	97.4
教育活動資金収支差額比率	$\frac{\text{教育活動資金収支差額}}{\text{教育活動資金収入計}}$	5.9	4.9	4.4	5.4	4.2

※1 「経常収入」 = 教育活動収入計 + 教育活動外収入計

2. 建学の精神と使命

本学園の創設者杉野芳子は、日本の近現代の過渡期にあつて、単身渡ったアメリカで自分自身の生活体験の中から西洋衣裳の制作技術と服飾文化を身に付けて、帰国後日本における服飾教育を開始した。その目指すところは日本における洋装の普及定着と服飾技術の習得による女性の自立であつた。彼女は洋装を日本人に適合させるための洋裁技術としてドレメ式原型を考案し、日比谷公会堂で日本初のファッションショーを開催するなど、日本における服飾教育の確立とモードの創出に取り組んだ。彼女はファッションを 20 世紀の新しい芸術の一分野として捉え、パリのエレガンスを日本に紹介した。彼女の取り組みの全てがパイオニア精神で満たされている。

本学園の建学と展開の理念は、挑戦（チャレンジ）の精神、創造する力、自立（自己実現）する能力である。

21 世紀初頭に入った現在、日本の服飾に関する産業と社会はかつてないほど国際化が進行し、素材生産から消費市場に至るすべての局面で様々な課題に直面している。この状況の中で、現在及び未来の日本のファッション産業の道を切り拓くチャレンジ精神をもって、芸術性・技術力と文化的教養に基づいた創造力を養い、専門職業人として社会で自立する能力のある人材を送り出すことが本学園の使命である。

3. 沿革

大正	15年	(1926)	3月	ドレスメーカー・スクール（現ドレスメーカー学院）を創立する
			11月	ドレスメーカー女学院と校名変更する
昭和	5年	(1930)	4月	洋服本科を開設する
			14年	(1939) 6月
	24年	(1949) 4月	通信教育科を開設する	
	25年	(1950)	4月	杉野学園女子短期大学被服科を開学する
			11月	杉野学園服飾図書館開館する
	26年	(1951) 3月	学校法人杉野学園として認可される	
	32年	(1957) 5月	杉野学園衣裳博物館開館する	
	33年	(1958) 4月	学院にデザインアート科を開設する	
	36年	(1961)	4月	学院にドレスメーカー養成科を開設する
			4月	ドレメ通信教育講座が文部省認定となる
	37年	(1962) 4月	短大に生活芸術科を増設する	
	39年	(1964)	4月	杉野学園女子大学家政学部被服学科を開学する
				杉野学園女子短期大学を杉野学園女子大学短期大学部と校名変更する
41年	(1966) 4月	大学、短大が杉野女子大学、杉野女子大学短期大学部に校名変更する		
43年	(1968) 4月	学院に職業科を開設する		
45年	(1970) 4月	大学に被服構成・デザインコース、被服テキスタイルデザインコース、被服科学コース、被服芸術論文コースの4コースを開設する		
46年	(1971) 4月	杉野百草幼稚園（現杉野幼稚園）を開園する		
48年	(1973)	4月	大学に学芸員課程を開設する	
		10月	学院の職業科を産業教育科と名称変更する	
51年	(1976) 4月	学院が専修学校制度の創設に伴う専門学校(服飾専門課程)に認可される		
63年	(1988) 8月	ドレスメーカー女学院をドレスメーカー学院と校名変更する		
平成	7年	(1995)	4月	学院の本科と師範科を併せて服飾造形科とする
			12年	(2000) 4月
	13年	(2001)	4月	短大にドレスクリエーション、コスチュームクリエーション、アパレルクリエーション、ライフスタイルクリエーションの4コースを開設する
			4月	中国の浙江工程学院（現浙江理工大学）と友好交流協定を締結する
	13年	(2001)	4月	日野市（日野キャンパス）に日野校舎 G棟（General Block）を竣工する
			4月	大学の教育課程を改定。1・2年次を共通の基礎課程とし、3年次以降を専門課程としてモードクリエーション、先端ファッション表現、感性産業デザイン、アートファブリックデザイン、ファッション文化論の5コースを開設する
	14年	(2002)	4月	短大のライフスタイルクリエーションコースを廃止する
			4月	大学、短大が杉野服飾大学(服飾学部服飾学科)、杉野服飾大学短期大学部(服飾学科)に校名変更し、男女共学とする
	14年	(2002)	4月	日野校舎に R棟（Representation Block）を竣工する
			4月	モスクワ国立繊維大学と日露服飾協力協定を締結する
	15年	(2003)	10月	杉野服飾大学付属図書館が竣工、開館する
			3月	短大の生活芸術科を開科する
	17年	(2005)	4月	大学にファッションビジネス・マネジメントコースを開設する
4月			大学にファッションプロダクトデザインコースを開設する	
19年	(2007) 4月	学院に高度アパレル専門科を開設。デザイナー科をアパレルデザイン科と名称変更する		
20年	(2008) 12月	浙江紡織服装職業技術学院と「両校友好交流に関する協定」を締結する		
21年	(2009) 4月	大学にファッションデザイン専攻科を開設する		
22年	(2010) 9月	杉野服飾大学日中服飾専門課程を浙江紡織服装職業技術学院に開設する		
23年	(2011)	4月	学院のファッションビジネス科をファッションサービス科に名称変更する	
		12月	杉野ホールを竣工する	
24年	(2012) 4月	大学院造形研究科を開設する		
25年	(2013) 4月	学院のデザインアート科の募集を停止する		
27年	(2015)	4月	大学の教育課程を改定。1年次を初年次教育とし、モードテクノロジー系とファッションビジネス系に分ける。2年次以降の専門教育課程としてモードクリエーション、インダストリアルパターン、テキスタイルデザイン、ファッションプロダクトデザイン、ファッションビジネスマネジメント、ファッションビジネス流通イノベーションの6コースを開設する	
		4月	ドレメ通信教育講座の募集を停止する	
29年	(2017)	2月	学院のアパレル技術科、高度アパレル専門科 文部科学省より職業実践専門課程認定となる	
		4月	学院のファッションサービス科をファッションビジネス科に名称変更する	
30年	(2018)	1月	ドレメ通信教育講座を廃止する	
		2月	学院の服飾造形科、ファッションビジネス科 文部科学省より職業実践専門課程認定となる	
		4月	大学服飾学部に服飾表現学科を増設する	

4. 学校法人杉野学園 組織・付属機関等

学校法人杉野学園（以下「法人」）は、教育基本法および学校教育法に従って、学校を設置することを目的に設置された法人であり、現在、杉野服飾大学、杉野服飾大学短期大学部、ドレスメーカー学院及び杉野幼稚園の4校を設置している。

法人組織における役員及び諸機関と役割は次の通りである。

組 織

理事会

本学の教育・研究の充実および向上を目的とする有効適切な経営管理を行うため、その基本的な施策、方針、計画等本法人の業務を決定する法人の最高の意思決定機関である。

予算や決算、重要な資産の処分、寄附行為の変更等の重要な事項はすべて理事会の議決を経なければならない。

【構成員9名中現員（令和2年3月31日現在）9名】

理事長

法人の代表者である。また、法人内部の業務の総括者（私立学校法第37条）であり、理事会、評議員会の招集者である。

評議員会

法人の業務若しくは財産の状況、役員の業務執行の状況について役員に対して意見を述べ、諮問に答え、役員から報告を徴することができる機関である。

【構成員21人以上28人以内中現員（令和2年3月31日現在）23名】

監事

法人の業務及び財産の状況を監査し、監査報告書を作成し、理事会・評議員会に提出する。

【構成員2名中現員（令和2年3月31日現在）2名】

学長

大学の代表者であり、大学教職員の統督者（学校教育法第92条）である。この他、法人の設置する学校の長として、短期大学部学長、ドレスメーカー学院院長、幼稚園園長がいる。

大学

大学は学長によって代表され、そのスタッフとして副学長、学部長、教務部長、学生部長、就職部長等がいる。大学全体の審議機関として、大学教授会がある。また、学長のもとに各委員会が常設され、大学の重要な事項が諮られる。

短期大学部

短期大学部には、短期大学部学長が置かれ、学科長、教務部長、学生部長、就職部長等がいる。また、短期大学部教授会が組織され、大学とほぼ同様に運営される。

ドレスメーカー学院

ドレスメーカー学院には、院長が置かれ、学生部長、就職部長、各科長、学年主任などの役職者がいる。また、院長のもとに教員会議が組織され、重要な事項が諮られる。

幼稚園

幼稚園には、園長が置かれ、主任がいる。また、園長のもとに職員会議が組織され、重要な事項が諮られる。

付属機関

図書館

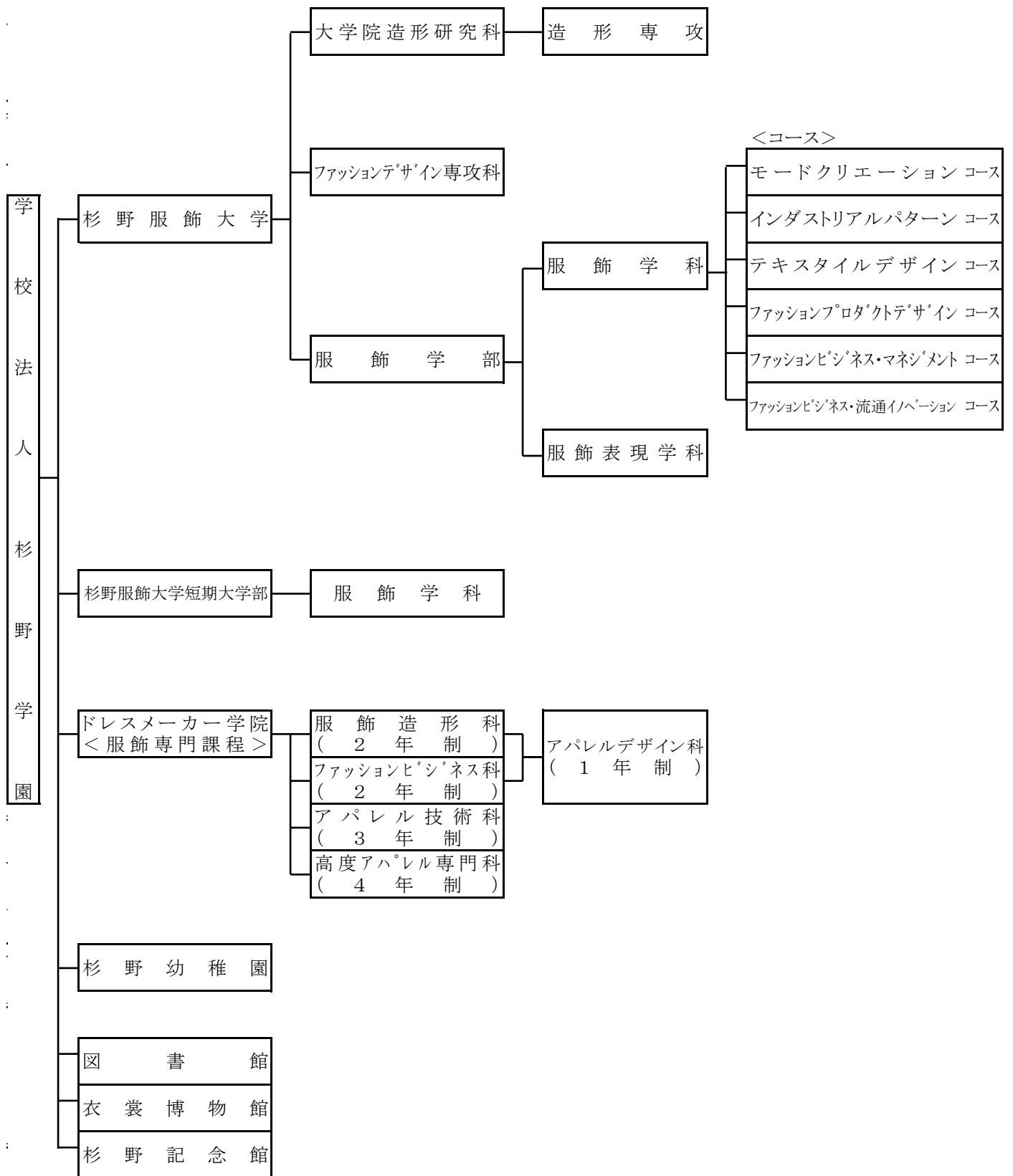
図書館には、館長が置かれ、館長は、理事長の命を受けて館務を総括し、図書館を代表する。

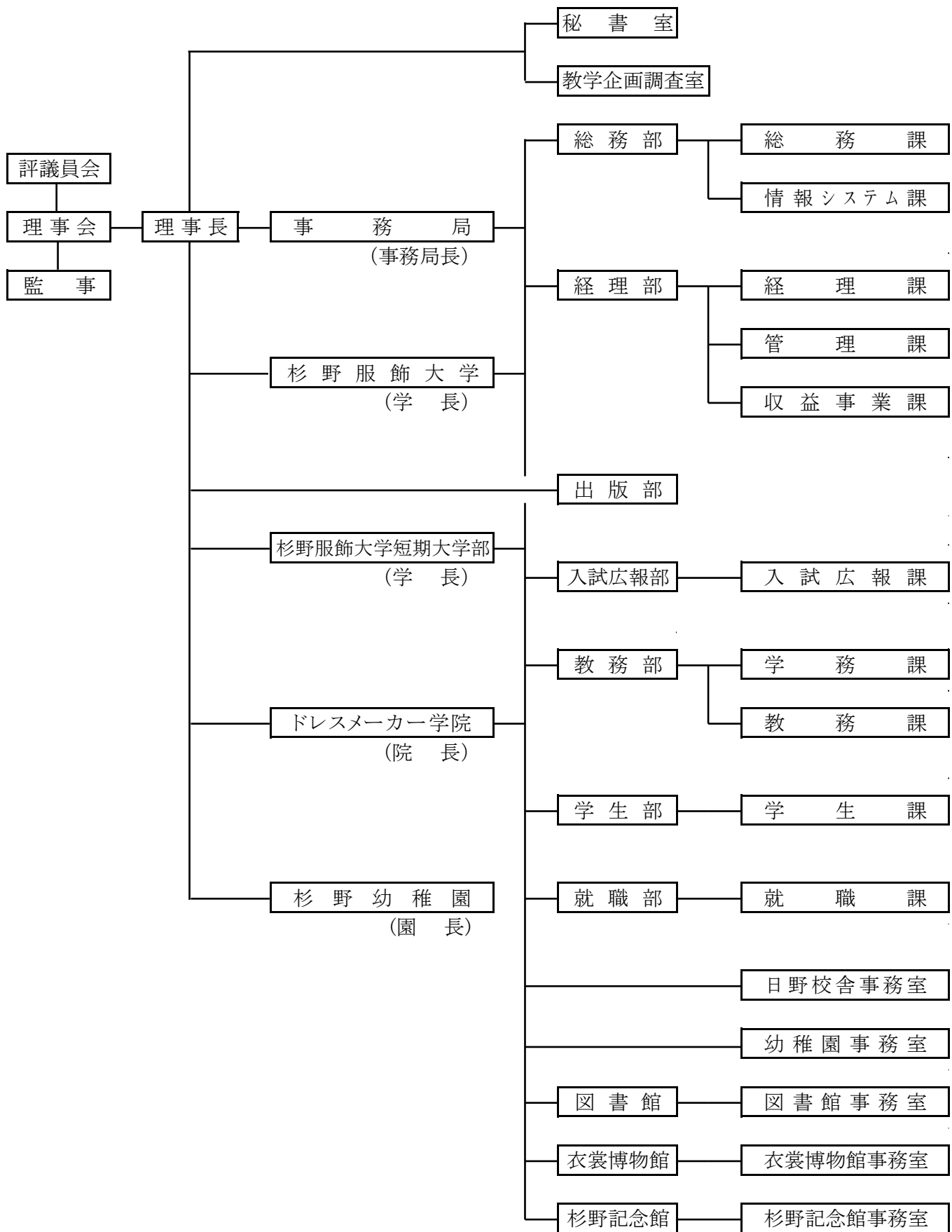
衣裳博物館・博物館分室

博物館には、館長が置かれ、館長は、理事長の命を受けて館務を総括し、博物館を代表する。

杉野記念館

記念館には、館長が置かれ、館長は、理事長の命を受けて館務を総括し、記念館を代表する。





5. 学部・課程、学科・科別収容定員・入学定員・入学者数等及び学位授与数

過去5年間の入学定員・総定員等生徒数一覧（5月1日基準）

杉野服飾大学大学院 造形研究科

[単位:人]

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
収容定員	20	20	20	20	20
入学定員	10	10	10	10	10
入学者数	6	4	4	0	5
在籍者数	9	10	8	4	5
修了生数	3	5	2	4	0
学位授与数	3	5	2	4	0

杉野服飾大学 服飾学部 服飾学科

[単位:人]

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
収容定員	1,020	1,020	1,020	860	860
入学定員	240	240	240	200	200
入学者数	174	164	196	193	198
在籍者数	739	714	690	738	743
卒業生数	162	193	133	157	153
学位授与数	162	193	133	157	153

杉野服飾大学 服飾学部 服飾表現学科

[単位:人]

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
収容定員				160	160
入学定員				40	40
入学者数				22	24
在籍者数				22	45
卒業生数				—	—
学位授与数				—	—

杉野服飾大学短期大学部 服飾学科

[単位:人]

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
収容定員	120	100	100	100	100
入学定員	50	50	50	50	50
入学者数	42	51	41	44	40
在籍者数	84	91	87	82	83
卒業生数	38	40	42	33	40
学位授与数	38	40	42	33	40

過去5年間の入学定員・総定員等生徒数一覧（5月1日基準）

ドレスメーカー学院

[単位:人]

学科名	修業 年限	平成27年度					平成28年度				
		入学定員	総定員	入学者数	在籍者数	卒業者数	入学定員	総定員	入学者数	在籍者数	卒業者数
服飾造形科	2年	70	140	37	76	36	70	140	43	79	34
アパレル技術科	3年	30	95	15	42	11	30	95	30	58	16
ファッションサービス科	2年	30	60	6	16	10	30	60	17	22	5
ファッションビジネス科	2年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
高度アパレル専門科	4年	15	50	9	36	12	15	55	17	40	12
アパレルデザイン科	1年	30	30	13	13	13	35	35	15	15	15
デザインアート科	1年	5	5	募集停止	—	—					
計		180	380	80	183	82	180	385	122	214	82

学科名	修業 年限	平成29年度					平成30年度				
		入学定員	総定員	入学者数	在籍者数	卒業者数	入学定員	総定員	入学者数	在籍者数	卒業者数
服飾造形科	2年	70	140	37	74	36	70	140	53	85	29
アパレル技術科	3年	30	90	18	54	10	30	90	14	53	23
ファッションサービス科	2年	15	30	募集停止	12	10	—	—	—	—	—
ファッションビジネス科	2年	15	30	7	7	—	30	60	6	11	5
高度アパレル専門科	4年	15	60	8	33	2	15	60	7	34	8
アパレルデザイン科	1年	35	35	15	15	15	35	35	12	12	12
計		180	385	85	195	73	180	385	92	195	77

学科名	修業 年限	令和元年度				
		入学定員	総定員	入学者数	在籍者数	卒業者数
服飾造形科	2年	70	140	56	97	37
アパレル技術科	3年	30	90	8	46	14
ファッションビジネス科	2年	30	60	18	11	3
高度アパレル専門科	4年	15	60	0	21	6
アパレルデザイン科	1年	35	35	11	11	11
計		180	385	93	186	71

過去5年間の入学定員・募集数・園児数一覧(5月1日基準)

杉野幼稚園

[単位:人]

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
収容定員	315	315	315	315	315
入学定員	105	105	105	105	105
募集者数	54	54	54	54	54
入学者数	34	22	26	14	31
園児数	89	84	86	65	75
年少	34	22	26	14	31
年中	28	34	24	26	17
年長	27	28	36	25	27
卒園児数	27	28	36	25	26

6. 入試に関する状況

杉野服飾大学大学院 造形研究科

[単位:人]

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
志願者	8	4	8	3	6
入学者	6	4	4	0	5

杉野服飾大学 服飾学部 服飾学科

[単位:人]

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
志願者	242	220	251	259	246	
入学者	174	164	196	193	198	
内訳	AO入試	85	68	100	106	109
	推薦	60	67	75	69	66
	一般	18	15	13	8	9
	センター	11	14	8	10	13
	社会人					1

杉野服飾大学 服飾学部 服飾表現学科

[単位:人]

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
志願者				47	59
入学者				22	24
内訳	AO入試			14	15
	推薦			2	8
	一般			4	0
	センター			2	1
	社会人			0	0

杉野服飾大学短期大学部 服飾学科

[単位:人]

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
志願者	52	57	49	46	48	
入学者	42	51	41	44	40	
内訳	AO入試	20	16	18	25	26
	推薦	21	30	22	19	14
	一般	1	5	1	0	0
	センター	0	0	0	0	0
	社会人					0

杉野幼稚園

[単位:人]

区分	平成27度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
志願者	36	22	27	15	32
入学者	34	22	26	14	31

ドレスメーカー学院

[単位:人]

区分	平成27度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
志願者	72	109	73	87	84
入学者	67	107	70	80	82

7. 就職・進学等の状況

杉野服飾大学

年度	卒業生数	就職希望者数		内定者数	内定率	進学者数
	(人)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)
令和元年度	153	125	81.7%	114	91.2%	7
平成30年度	157	122	77.7%	121	99.2%	3
平成29年度	133	104	78.2%	104	100.0%	7
平成28年度	193	153	79.3%	153	100.0%	8
平成27年度	162	129	79.6%	129	100.0%	11

注:内定率(%)は、就職希望者に占める内定者の割合を示します。[杉野服飾大学短期大学部、ドレスメーカー学院についても同じ。]
注:杉野服飾大学には、大学院・専攻科の人数は含まれません。

杉野服飾大学短期大学部

年度	卒業生数	就職希望者数		内定者数	内定率	進学者数
	(人)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)
令和元年度	40	28	70.0%	28	100.0%	5
平成30年度	33	21	63.6%	20	95.2%	2
平成29年度	42	38	90.5%	38	100.0%	2
平成28年度	40	25	62.5%	25	100.0%	6
平成27年度	38	35	92.1%	35	100.0%	3

ドレスメーカー学院

年度	卒業生数	就職希望者数		内定者数	内定率	進学者数
	(人)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)
令和元年度	71	44	62.0%	41	93.2%	20
平成30年度	77	55	71.4%	55	100.0%	15
平成29年度	73	55	75.3%	55	100.0%	13
平成28年度	82	59	72.0%	59	100.0%	15
平成27年度	82	58	70.7%	58	100.0%	18

8. 検定試験に関する状況

令和元年度 検定試験結果

杉野服飾大学

検定名	受験者数	合格者数	合格率	備考	
ファッション色彩能力検定 3級	70	58	82.9%	1年2名(合格2)モード36名(合格28) テキスタイル29名(合格25)マネジメント3名(合格3)	
	71	37	52.1%	モード68名(合格34)インダストリアル2名(合格2) テキスタイル1名(合格1)	
ファッションビジネス能力検定 3級	20	9	45.0%	マネジメント16名(合格6)イノベーション4名(合格3)	
	3級科目	3	2	66.7%	マネジメント3名(合格2)
	2級	1	0	0.0%	マネジメント1名(合格0)
ファッション販売能力検定 3級	23	18	78.3%	1年1名(合格1)マネジメント9名(合格6) イノベーション13名(合格11)	
	7	5	71.4%	モード2名(合格1)マネジメント3名(合格3) イノベーション2名(合格1)	
パターンメイキング技術検定 3級	23	22	95.7%	インダストリアル23名(合格22)	
	2級	39	5	12.8%	インダストリアル39名(合格5)
フォーマルスペシャリスト検定準2級	2	2	100.0%	インダストリアル1名(合格1)イノベーション1名(合格1)	
ブライダルファッションプランナー検定	3	3	100.0%	モード3名	
レザーソムリエ 初級	9	1	11.1%	プロダクト9名(合格1)	
ショップディスプレイ 3級	5	5	100.0%	モード1名 インダストリアル1名 テキスタイル1名 イノベーション1名 未所属1名	
	2級	1	1	100.0%	マネジメント1名

短期大学部

検定名	受験者数	合格者数	合格率	備考
ファッション色彩能力検定 3級	38	29	76.3%	1年37名(合格28)2年1名(合格1)
ファッション販売能力検定 3級	40	33	82.5%	1年40名(合格33)
フォーマルスペシャリスト検定準2級	4	4	100.0%	1年4名
ブライダルファッションプランナー検定	4	4	100.0%	2年4名

令和元年度 検定試験結果

ドレスメーカー学院

検定名	服飾造形科			ファッションビジネス科			アパレル技術科			高度アパレル専門科			
	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率	
ファッション色彩能力検定 3級	45	40	88.9%	8	4	50.0%	15	12	80.0%				
	2級	18	8	44.4%				7	6	85.7%	4	3	75.0%
ファッションビジネス検定 3級	48	34	70.8%	7	3	42.9%	17	14	82.4%				
	2級	9	4	44.4%	3	0	0.0%	1	0	0.0%	4	1	25.0%
ファッション販売能力検定 3級				5	4	80.0%							
	2級						1	1	100.0%	5	2	40.0%	
パターンメイキング技術検定 3級	26	25	96.2%				12	12	100.0%	6	5	83.3%	
	2級						14	13	92.9%	7	7	100.0%	
	1級						6	1	16.7%				
洋裁技術検定	初級	49	42	85.7%				17	17	100.0%			
	中級	36	34	94.4%							4	3	75.0%
	上級							4	3	75.0%			
フォーマルスペシャリスト検定準2級	49	45	91.8%	7	5	71.4%	17	14	82.4%				
ブライダルファッションプランナー検定							6	6	100.0%				

9. 教員数等

1. 専任教員(令和元年年5月1日現在)

[単位:人]

所 属	学長等	教 授	准教授	講 師	助教	助 手	教諭	合 計
大 学	2	16	7	7	8	7		47
短 大		4	2		1			7
幼稚園	1						4	5
ドレスメーカー学院	1	7	5	1		3		17
合 計	4	27	14	8	9	10	4	76

[契約専任教員(令和元年5月1日現在)]

[注:上表の人数の内数です]

所 属	学長等	教 授	准教授	講 師	助教	助 手	教諭	合 計
大 学		6	5	4	8	7		30
短 大		1	1		1			3
幼稚園								
ドレスメーカー学院		3	1		2	1		7
合 計		10	7	4	11	8		40

2. 専任職員(令和元年5月1日現在)

[単位:人]

所 属	専 任	常勤嘱託	合 計
本 部	1 (1)	2 (0)	3 (1)
大 学	12 (8)	20 (12)	32 (20)
短 大	3 (2)	3 (2)	6 (4)
幼稚園	(0)	2 (1)	2 (1)
ドレスメーカー学院	6 (5)	2 (2)	8 (7)
合 計	22 (16)	29 (17)	51 (33)

注:上表各欄の()は女子内数です

10. 役員 の 状 況

令和2年3月31日現在

役 名	氏 名	略 歴
理事長	中村 賢二郎	昭和8年生まれ。 昭和55年 文部省初等中等教育局職業教育課長 平成9年 別府大学学長・別府大学教授 平成15年 学校法人杉野学園評議員、理事就任(現) 杉野服飾大学・同短期大学部学長(現) 杉野服飾大学教授(現) 平成16年 学校法人杉野学園理事長就任(現)
理 事	佐々木 千春	昭和34年生まれ。 平成2年 株式会社フォルトナボックス代表取締役社長就任(現) 平成20年 株式会社FBC取締役就任(現) 平成27年 ドレスメーカー学院院長就任(現) 平成27年 学校法人杉野学園評議員、理事就任(現)
理 事	北折 貴子	昭和35年生まれ。 平成22年 杉野服飾大学服飾学部 教授(現) 平成23年 学校法人杉野学園評議員就任(現) 平成28年 杉野服飾大学服飾学部長就任(現) 平成29年 学校法人杉野学園理事就任(現)
理 事	岡 正子	昭和33年生まれ。 平成9年 岡学園長野ファッションカレッジ校長就任(現) (現岡学園トータルデザインアカデミー) 平成17年 株式会社エコマコ代表取締役就任(現) 平成23年 ドレスメーカー学院院長就任 平成29年 学校法人杉野学園評議員、理事就任(現)
理 事	杉野 秀	昭和5年生まれ。 平成元年 学校法人杉野学園評議員就任(現) 平成11年 学校法人杉野学園理事就任(現) 平成14年 杉野記念館館長就任(現)
理 事	北根 祥男	昭和17年生まれ。 平成12年 茨城大学事務局長 平成13年 学校法人柏専学院理事、新潟産業大学 事務局長 平成20年 杉野学園経理部長 平成30年 杉野学園事務局長就任(現) 平成31年 学校法人杉野学園評議員、理事就任(現)
理 事	遠山 壽一	昭和12年生まれ。 平成16年 出光興産株式会社特別顧問(平成22年まで) 平成18年 学校法人杉野学園評議員、理事就任(現)
理 事	田村 誠	昭和15年生まれ。 昭和63年 文化庁文化財保護部長 平成4年 京都大学事務局長 平成20年 財団法人日本博物館協会専務理事 平成23年 学校法人杉野学園評議員、理事就任(現) 平成29年 杉野服飾大学副学長就任(現)
理 事	内藤 朗	昭和27年生まれ。 平成9年 一般社団法人日本ホビー協会理事就任(現) 平成17年 株式会社ブティック社代表取締役社長(現) 平成29年 学校法人杉野学園評議員就任(現) 平成30年 学校法人杉野学園理事就任(現)
監 事	田中 健一郎	昭和21年生まれ。 昭和57年 小倉田中法律事務所所属(現ひびき法律事務所) 平成17年 学校法人杉野学園監事就任(現)
監 事	黒崎 勝之	昭和13年生まれ。 平成17年 日本私立学校振興・共済事業団監事 平成25年 学校法人杉野学園監事就任(現)

評議員23名

Ⅱ. 平成元年度事業概要

1. 第2次中期計画の推進

第2次中期計画の5ヵ年計画第4年次として、引き続き各学校の目標とする入学者数の確保を重点として、オープンキャンパスの開催・運営方法に工夫を凝らし、広報・募集活動の充実強化を進めた。

令和2年度の入学者数は、大学では新設の服飾表現学科が前年度より増加したものの全体としては前年度より若干減少し、中期計画の目標数の入学定員240名を33名下回った。短期大学部、ドレスメーカー学院及び幼稚園の入学者数も前年より減少し、目標数を下回った。令和2年度までの5年間の入学者数の推移を踏まえて、次期中期計画においては各学校の入学定員の在り方等について検討を行う必要がある。

教育活動収支差額では、大学が4年間で大幅に改善し、令和元年度で計画を上回る約8千万円の黒字となった。短期大学部と幼稚園は収支の均衡を辛うじて保ち、ドレスメーカー学院は1億2千7百万円の赤字となっている。このため、法人全体では7千5百万円の赤字となった。資金収支差額では、学校ごとの収支差額は教育活動収支差額と同様であるが、法人全体の収支差額は中期計画の計画額を下回っているものの収支の均衡が保たれる状態となった。次年度繰越支払資金は約7億円となっている。

本年度は、給付型奨学金と授業料・入学金の減免を併せて支援する修学支援法が制定された。本学園の大学・短大・ドレスメーカー学院はこの支援の対象となる大学等に機関認定される必要があり、本学園の各学校はこれへの確認申請を行い、支援機関として機関認定されると共に、関係規則を整備し、学生からの申請を受け、令和2年度の支援開始に向け準備を進めた。

2. 杉野服飾大学服飾学部服飾表現学科の開設と造形教育

杉野服飾大学服飾学部に平成30年度に新設した服飾表現学科は2年次が開始された。学生は5つの専攻のなかから、主専攻と副専攻を1つ以上取り幅広い知識と技術を学べるようにした。演劇などの衣装デザイン、映像・メディア表現、ショープロデュース、スタイリング、ビジュアルマーチャンダイジングなど服飾の表現に関する専門的な職業の知識技術を包括的に教育研究する日本で初めての高等教育機関で新たな授業展開となるため色々な設備を整えつつある。

学科開設のためのカリキュラムの編成と専門家の教授陣を含めた教育組織などを整備し、専門課程教育の実施に向けて教育体制を整えた。令和元年度の秋には各専攻等の担当教授予定者と相談の上、卒業制作や外部研修を見据えた具体的な授業計画を立て、シラバスを作成した。令和2年度には3年次の専門課程が始まり、さらに専門性のある日野校舎での授業がスタートする。

更に、専門課程教育を円滑に実施するため、日野校舎におけるPCや特殊マシン整備など専門性の高い施設設備の整備充実を図った。

平成16年度から始まった「教員作品集」は15回目となる。1年間の研究成果として造形系の教員による作品集は高校訪問等に役立てられ、実物作品は学内の展示室等で在校生にも先生方の作品を観る機会として展示を行っている。

3. 杉野服飾大学短期大学部の教育環境の整備

杉野服飾大学短期大学部では学生が自由に使える自由制作室（自習＋プリンター室）・デジタルデザイン室（パソコン室）を整備し意欲のある学生が自由に作品制作できる環境を整え、授業外学習を支援している。今年度は学生の学習意欲を高め服飾造形の授業を円滑に進める目的で学長裁量経費の採択を得て、「アパレルカッティングプロッター」を導入できた。服飾造形科目の授業および授業準備などの利便性が上がり、この結果、服飾造形の授業内、授業外での学習の幅を更に広げることができた。

4. ドレスメーカー学院の自己点検・評価

ドレスメーカー学院は、令和元年度も自己点検・評価委員会による点検評価を行い重点目標である教育改革を行った。外部からの評価を受けるため、夏季に教育課程編成委員会を、2月・3月に学校関係者評価委員会を開催した。その内容を令和2年9月に公表する計画である。

また、平成28年度より自己点検・評価委員会の中の重点目標として「職業実践専門課程」（文部科学大臣認定）の申請に取り組み、平成28年度にアパレル技術科、高度アパレル専門科、平成29年度に服飾造形科、ファッションビジネス科が「職業実践専門課程」の認定を受け、その公表を行った。令和元年度は、「職業実践専門課程」の質保証・向上のため、平成30年度の自己点検報告書を「特定非営利活動法人私立専門学校等評価機構」に提出し、第三者評価を受けた。結果は令和2年3月31日に同機構より公表された。

5. 杉野幼稚園の幼児教育の推進

幼稚園では、従来より地域に密着した幼児教育を実践しているが、令和2年度も未就園児親子を対象にプレ保育、ミニ運動会や「親子であそぼう！」なども実施し、預かり保育を含め地域の子育て支援の役割も果たしてきた。またICT化により預かり保育の申込みなどにおいて保護者にとっての利便性を高めることが出来た。

令和2年度に杉野幼稚園の創立50年を迎えるため、これに向けて記念行事などの準備を進めた。

6. 杉野服飾大学日中服飾専門課程の教育の推進

中国浙江省寧波市の浙江紡織服装職業技術学院（高卒後3年生の服飾専科学校）と合作で同学院に開設した「杉野服飾大学日中服飾専門課程」は、平成22年9月に開校以来順調に運営され、4月には杉野服飾大学に10名の学生が編入学した。また、令和元年9月には第10期として90名の新生を迎えた。

平成26年度から日中服飾専門課程の学生を対象に行っている「杉野服飾大学で日本のファッションと文化を見て学ぶ短期研修旅行」は、令和元年7月に教員2名、学生11名の参加で催行した。

7. 国際交流の推進

世界で活躍できるクリエータ育成のために、今年度は、ベルギーアントワープ研修旅行に大学・短大の学生6名、イギリスの短期語学留学プログラムに大学生2名、パリコレクション春夏、秋冬見学旅行には大学生12名、ニューヨーク研修旅行に大学・短大・ドレメ生合わせて15名が参加し実施した。協定校である中国浙江理工大学、A. N. コスイギン名称ロシア国立大学との交流については、相互訪問を行い、ファッションコンテストへの参加や教員の特別講義等を実施した。

但し、令和2年3月にA. N. コスイギン名称ロシア国立大学へ教員1名、学生2名で訪問する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大により中止した。

8. 大学・短期大学部服飾造形夏期セミナーと教員免許状更新講習の開催

平成18年度から高校の家庭科教員を対象に実施しているセミナーは令和元年度で14回目を迎え、8月5日・6日の2日間実施した。講座はドレス構成に関する4講座、手芸的な内容の1講座、講義系の2講座とPC系の2講座を行った。その際アンケートにて令和2年度はオリンピック年となっていたため8月の実施について意見を伺い、夏期セミナーに参加は難しいことを確認した。それにより令和2年度は夏期セミナーの実施は見送ることと決定した。更に令和元年度は8月7日に「H31年度 産業・情報技術等指導者養成研修」を全国高等学校長家庭部会・公益財団法人全国高等学校家庭科教育振興会の依頼で5つの講座を行った。この講座には約25名の高校家庭科教員が参加し、高評価を得た。

また、教員免許状更新講習については、平成20年度の「予備講習」から文部科学省の認定を受けて開催してきているが、令和元年度も高、中、小学校の教諭（「家庭科」以外を含む）を対象として、「草木染め」「トートバッグ制作」「ドローイング」の3コースを設けて、8月3日（土）・5日（月）・6日（火）の3日間、定員90名で実施した。更新講習では、受講者から評価を受けているが、平成31年度の講習の内容・方法についても各講座とも極めて高い評価を受けた。

9. 教職課程における教育職員免許法改正に伴う新課程の開始

教育職員免許法及び同法施行規則の改正に伴い、4月1日より「新教職課程」を開始させた。本学では平成29年度から再課程認定の為の申請準備等を開始し、平成30年度に申請を行い、平成31年2月に文部科学大臣から「再課程認定」を受けた。なお、在学履修者については、引き続き旧課程のカリキュラムで指導を行った。

10. 全国ファッションデザインコンテストの開催

本学園が一般財団法人ドレスメーカー服飾教育振興会と共同で開催する全国ファッションデザインコンテストは、令和元年度は57回目を迎えた。10月12日（土）は台風19号の影響で本学園の杉野ホールで本審査のみ行い、表彰式を15日に実施した。

11. 杉野服飾大学附属図書館所蔵資料のデジタル化計画の推進

附属図書館では、利用者個人のパソコン、タブレットやスマホを使用して、図書館所蔵の参考文献などを利用しながら、レポートや授業プレゼンの資料を作りたいという教員や学生からの要望を受け、図書館内に無線 LAN を構築した。この結果、館内での利用者個人のタブレットやスマホを使用している利用者は増加したが、図書館の利用統計の増加には至らなかった。

平成 22 年 3 月より PC 接続型のマイクロフィルムリーダー機器による本館所蔵資料のデジタル化を開始した。当初マイクロフィルム保存分の卒制・卒論を対象に行っていたが、平成 25 年 11 月からは劣化の著しい「Vogue U. S. A. 版」（昭和 51 年購入、ロール型マイクロフィルム）のデジタル化を最優先で行っており、令和元年度末までに 36 ロール完了。作業を継続中である。また、本を見開きのままスキャンできるコンパクトスキャナによる、本館所蔵の貴重書のデジタル化は、平成 27 年度より、杉野芳子先生の著作物から開始しており、令和元年度末までに、62 冊完了。作業を継続中である。

12. 杉野服飾大学短期大学の社会貢献活動

杉野服飾大学短期大学部は、2 年次の「社会貢献プログラム」という科目で地域の団体と様々な取り組みを行った。品川区とは協定を結んでおり、それに基づき平成 30 年度は品川区八潮児童センターにおいて「T シャツリメイク」「トートバック作り」のワークショップを行い、児童センター主催の夏フェスにも参加、飾り付け、メイク、コーディネート、演出などでファッションショーを盛り上げた。また同じく品川区平塚児童センターでは「シルクスクリーンを使ったトートバック作り」「ロゼット作り」のワークショップを行い、その発表会にも立ち会った。その他近隣マンションなどの住民の方からなる夕陽会とは年少の子供から小学生までを対象に「大人向けのサコッシュ作り」「まもるっちストラップ作り」のワークショップを催し、目黒商工まつりでは「プラ板」「くるみボタンのアクセサリ」のワークショップを各 1 日ずつ行った。目黒区民まつり（目黒の SUN まつり）ではポスター・チラシデザインを行った。また、MISC（目黒インテリアショップコミュニティ）とのコラボレーションによる気仙沼支援活動としてインテリアの残布を使用した小物の制作・販売も行い、その売り上げで気仙沼では手に入らない服飾資材などを購入し、送った。生涯を通じて社会貢献の精神を培って欲しいとの思いから、1 年次にもさんままつりのボランティアや八潮児童センター「ぞうきんアート」のワークショップや TA として入学前講座などに参加してもらっている。短期大学部では、このように 2 年間を通じていろいろな社会貢献活動を広げている。

13. ドレメセミナーの実施

ドレスメーカー学院では、毎年、教員研修の発表の場としてドレメサマーセミナーを実施している。平成 27 年度より「創業者・杉野芳子に永遠性を求めて」と題し、4 カ年計画でアーカイブ研究発表を行い、平成 30 年度に終了した。令和元年度からは、開催時

期を創立記念日である11月2日とし、新たな計画で実施した。計画は創立100周年を目指し、毎年アイテム研究を行う。初年度である令和元年度は、午前中にワンピースの研究とテキスタイルなど教員の専門分野での研究を行った。午後は、HARIU DESIGN 代表の針生成樹氏による講演を開催した。

14. 小中学生に対するものづくり教室等の開催

小中学生が服飾に関するものづくりを体験し、喜びを味わうことは小中学生の人的成長に大きな意味を持つ。この観点からドレスメーカー学院では、品川区教育委員会と協力して、品川区と目黒区内の小中学生を対象とした「ドレメキッズスクール」を開催してきているが、平成元年度も7月31日に実施した。

また、杉野服飾大学では、目黒区、品川区、大田区の中中学生を対象に「杉野ファッショングッズ中学生セミナー ―My Bagをつくろう―」を平成22年度から行っている。令和元年度も令和2年3月に実施予定であったが新型コロナウイルス感染拡大により中止した。

15. 杉野学園衣裳博物館常設展示の開催

4月2日から8月8日まで「平成31年度 前期館収蔵品展」を開催した。フロアごとにテーマを変えて収蔵品を公開。1階はウォルトのイヴニング・ドレスやドゥーセのコレクション等、19世紀末～20世紀初頭の女性の西洋衣装を、2階はシャネル、バレンシアガ、サンローラン、ジバンシィ、4ブランドのオートクチュールやプレタポルテのスーツと、本学園教員がそれらの作品を資料として行った服飾造形研究の解説もあわせて展示した。また3階では十二単や武官束帯、アイヌの民族衣装の他、楮製紙製マネキンを出品した。

9月20日から令和2年2月10日まで「ブルガリアとルーマニアの民族衣装展」を開催した。刺繍を始めとする手芸的な技法に焦点をあて、本衣裳博物館収蔵品と本学園元教員である川口素子氏の収蔵品により展示を行った。1階にはブルガリア、2階にはルーマニアの様々な技法が施された民族衣装と小物類と解説を展示。また3階では十二単や武官束帯、アイヌの民族衣装の他、楮製紙製マネキンを出品した。

16. 杉野芳子コレクション設立準備の継続実施

杉野学園創立90周年記念事業として、平成27年度より杉野芳子先生の遺作品をコレクションとして保存、活用するための作業を開始した。毎年40点程度を対象作品とし、5年計画で行い、令和元年度は最終年度となった。令和元年度は作品総数181点中、1970年代作品について調査、殺虫処理を行い、保存箱を作成し、全ての作品の収納作業を完了した。収納施設は、本校舎4階の一室を平成27年度に整備しており、保存処理の作業も収納施設内で行った。

17. 目黒商工まつり・目黒リバーサイドフェスティバルへの参加

平成24年度より目黒区商工会議所が主催する目黒商工まつり「目黒リバーサイドフェスティバル」に参加している。令和元年度は、大学・短大・ドレスメーカー学院それぞれ参

加しワークショップを実施した。

また目黒区商工まつりが取り組んでいるごみゼロキャンペーン啓発活動には、今年度も学生自治会が主体となって参加し、社会貢献活動を行った。

18. アトレ目黒店とのコラボレーション

目黒駅のショッピングセンターatre 目黒店が実施している「アトレとお客様、街（地域）とつながり、共に明日を育てくイベント a+（アトレト）」に平成 25 年度から大学が参画し、アトレ目黒店内で本学の特色を活かしたワークショップや展示を開催、地域連携を推進している。ここ数年「銀座マギー」や浜松にある株式会社共和レザーも加わって大学のファッションプロダクトデザインコースやインダストリアルパターンコースとコラボレーションを行ってきた。令和元年度には、モードクリエーションコースも参加して、両社から提供を受けた素材で学生がデザインし制作。作品は 2 週間銀座マギー目黒店内で展示された。

Ⅲ. 財務の概要

令和元年度における学校法人杉野学園の予算の執行状況等について、その概要を以下のとおり報告します。

(1) 資金収支計算書

「資金収支計算書」は、当学校法人の令和元会計年度における諸活動に対応するすべての収入・支出の顛末を明らかにしたものです。

資金収入合計は17億51百万円となり、収益事業からの繰入40百万円を含めて、ほぼ予算額通りとなりました。

資金支出合計は18億21百万円となり、予算を1億29百万円下回りました。これは、人件費、教育研究経費、管理経費をはじめとして主要の科目で予算額を下回ったことによります。この結果、翌年度繰越支払資金について、前年度より若干下回ったものの約7億円を翌年度に繰り越すことができました。

① 資金収入

学生生徒等納付金収入は11億90百万円となりました。授業料（保育料）、入学金、実験実習料、施設設備整備費及び本年度から始まった幼稚園無償化に伴う日野市等からの施設等利用給付金であり、学費納入学生・生徒等の数は大学院が5人、大学788人、短期大学部83人、ドレスメーカー学院が186人、幼稚園が75人でした。

手数料収入は14百万円となりました。入学検定料がその殆どを占めておりますが、入学志願者数については、学生の確保に向けて有効な対策を実施するよう努めております。

寄付金収入のうち、主なものは「学校法人杉野学園奨学金募金事業」として、企業から、また、在学生、卒業生及び教職員からいただいた寄付金であり、2百万円となりました。

補助金収入は、日本私立学校振興・共済事業団執行の「私立大学等経常費補助金」や東京都執行の「私立学校経常費補助金」等により、教育活動状況を反映した結果、1億29百万円となりました。

② 資金支出

人件費支出は8億27百万円となり、予算額を15百万円下回りました。

令和元年度（5月1日現在）における本務教員数は、大学が51人、短期大学部が8人、ドレスメーカー学院が17人、幼稚園が5人となっています。

本務職員については、技術助手を含めて50人となっています。また、これら本務教職員以外に兼務教職員（非常勤教職員）を配置していますが、その数は兼務教員が102人（延数）、兼務職員については、技術助手を含めて13人となっています。

教育研究経費支出は2億95百万円となり、予算額を56百万円下回りました。設置している各学校の教育研究諸活動に必要な消耗品費、光熱水費、旅費交通費、印刷費、保守費及び委託料等が主な支出であります。

管理経費支出は2億23百万円となり、予算額を3百万円下回りました。学生募

集、各設置学校全般に係る経費及び法人の運営に必要な諸経費が主な支出であります。

なお、管理経費支出の経常的経費については、引続き節減・合理化や効率的な執行を徹底しました。

また、施設及び設備関係支出は10百万円及び13百万円となっております。これまで、リース契約による設備導入を進めております。

資金収支計算書

平成31年 4月 1日から

令和2年 3月31日まで

学校法人 杉野学園

(単位:円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	1,166,546,000	1,189,862,500	△ 23,316,500
手数料収入	12,654,000	13,731,633	△ 1,077,633
寄付金収入	1,200,000	2,192,000	△ 992,000
補助金収入	135,755,000	129,248,978	6,506,022
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	93,060,000	122,922,997	△ 29,862,997
受取利息・配当金収入	6,000	9,335	△ 3,335
雑収入	32,020,000	41,398,876	△ 9,378,876
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	431,965,000	433,986,000	△ 2,021,000
その他の収入	339,200,000	358,747,678	△ 19,547,678
資金収入調整勘定	△ 459,540,000	△ 541,134,062	81,594,062
前年度繰越支払資金	716,480,000	769,474,354	△ 52,994,354
収入の部合計	2,469,346,000	2,520,440,289	△ 51,094,289
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	842,040,000	827,018,223	15,021,777
教育研究経費支出	351,090,000	295,117,214	55,972,786
管理経費支出	225,630,000	222,715,827	2,914,173
借入金等利息支出	4,016,000	3,942,121	73,879
借入金等返済支出	124,070,000	124,070,000	0
施設関係支出	11,836,000	10,168,920	1,667,080
設備関係支出	28,750,000	13,933,490	14,816,510
資産運用支出	1,000,000	2,000,682	△ 1,000,682
その他の支出	398,889,000	398,822,095	66,905
[予備費]	(0)	/	/
	30,000,000	/	30,000,000
資金支出調整勘定	△ 66,900,000	△ 76,753,514	9,853,514
翌年度繰越支払資金	518,925,000	699,405,231	△ 180,480,231
支出の部合計	2,469,346,000	2,520,440,289	△ 51,094,289

(2) 事業活動収支計算書

「事業活動収支計算書」は、当該会計年度における事業活動収支の均衡状態を教育活動収支、教育活動外収支、特別収支に区分してその内容を明らかにし、学校法人の経営状況が健全であるかどうかを示すもので、いわば企業会計の「損益計算書」に当たるものといえます。

教育活動収支はマイナス76百万円となりました。学生生徒等納付金をはじめとする教育活動収入の合計が14億57百万円に対して、人件費、教育研究経費、管理経費の教育活動支出の合計が15億33百万円となったことによるものです。

教育活動外収支はプラス36百万円となりました。受取利息・配当金収入、収益事業収入の教育活動外収入の合計が40百万円に対して、借入金利息の教育活動外支出が4百万円となったことによるものです。

特別収支はプラス2百万円となりました。

すべての収支を加減した結果、令和元年度の基本金組入前当年度収支差額はマイナス38百万円となり、49百万円の基本金組入を行ったことにより、当年度収支差額はマイナス87百万円となりました。この結果、前年度と比較して収支差額の改善（62百万円）が図られました。

事業活動収支計算書

平成31年 4月 1日から

令和2年 3月31日まで

(単位：円)

教育活動収入の部	科目	予算	決算	差異	
	学生生徒等納付金	1,166,546,000	1,189,862,500	△ 23,316,500	
	手数料	12,654,000	13,731,633	△ 1,077,633	
	寄付金	1,200,000	2,335,256	△ 1,135,256	
	経常費等補助金	135,755,000	126,840,978	8,914,022	
	付随事業収入	93,060,000	82,922,997	10,137,003	
	雑収入	32,020,000	41,398,876	△ 9,378,876	
	教育活動収入計	1,441,235,000	1,457,092,240	△ 15,857,240	
	事業活動支出の部	科目	予算	決算	差異
		人件費	847,658,000	826,640,943	21,017,057
		教育研究経費	530,590,000	468,809,383	61,780,617
		管理経費	237,280,000	237,816,706	△ 536,706
		徴収不能額等	0	0	0
		教育活動支出計	1,615,528,000	1,533,267,032	82,260,968
教育活動収支差額		△ 174,293,000	△ 76,174,792	△ 98,118,208	
教育活動外収入の部	科目	予算	決算	差異	
	受取利息・配当金	6,000	9,335	△ 3,335	
	その他の教育活動外収入	0	40,000,000	△ 40,000,000	
	教育活動外収入計	6,000	40,009,335	△ 40,003,335	
	事業活動支出の部	科目	予算	決算	差異
		借入金等利息	4,016,000	3,942,121	73,879
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	4,016,000	3,942,121	73,879
教育活動外収支差額		△ 4,010,000	36,067,214	△ 40,077,214	
経常収支差額		△ 178,303,000	△ 40,107,578	△ 138,195,422	
特別収入の部	科目	予算	決算	差異	
	資産売却差額	0	0	0	
	その他の特別収入	0	2,449,818	△ 2,449,818	
	特別収入計	0	2,449,818	△ 2,449,818	
	事業活動支出の部	科目	予算	決算	差異
		資産処分差額	0	370,806	△ 370,806
		その他の特別支出	0	0	0
		特別支出計	0	370,806	△ 370,806
特別収支差額		0	2,079,012	△ 2,079,012	
[予備費]		(0)		30,000,000	
基本金組入前当年度収支差額		△ 208,303,000	△ 38,028,566	△ 170,274,434	
基本金組入額合計		△ 70,970,000	△ 48,672,543	△ 22,297,457	
当年度収支差額		△ 279,273,000	△ 86,701,109	△ 192,571,891	
前年度繰越収支差額		△ 8,606,121,000	△ 7,036,468,711	△ 1,569,652,289	
基本金取崩額		0	0	0	
翌年度繰越収支差額		△ 8,885,394,000	△ 7,123,169,820	△ 1,762,224,180	
(参考)					
事業活動収入計		1,441,241,000	1,499,551,393	△ 58,310,393	
事業活動支出計		1,649,544,000	1,537,579,959	111,964,041	

(3) 貸借対照表

「貸借対照表」は、当学校法人の本年度末の資産、負債及び純資産の状況を明らかにしたものです。

資産の部の固定資産については、57億77百万円となり、前年度末より1億69百万円減少しました。減少の主な要素は建物、構築物について減価償却を行ったこと及び車両のリースによる会計処理変更によるものです。資産の部の流動資産については、7億59百万円となり、前年度末より54百万円減少しました。

負債の部の固定負債については、8億15百万円となり、前年度末より1億50百万円減少しました。これは第二校舎等の借入金について返済を行ったことによるものです。併せて、リース契約による長期未払金が減少しております。

負債の部の流動負債については、7億18百万円となり、前年度末より35百万円減少しました。これは修学支援法による授業料等の延納取扱いに基づき前受金が減少したことによるものです。

純資産の部については、5億円となり、今年度38百万円減少しました。第1号基本金は49百万円の組入を行いました。

貸 借 対 照 表

令和2年3月31日

(単位：円)

資産の部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定資産	5,776,859,888	5,945,665,774	△ 168,805,886
有形固定資産	5,653,357,899	5,824,670,699	△ 171,312,800
土地	1,381,698,848	1,381,698,848	0
建物	3,518,941,170	3,647,410,819	△ 128,469,649
その他の有形固定資産	752,717,881	795,561,032	△ 42,843,151
特定資産	80,701,096	78,708,432	1,992,664
その他の固定資産	42,800,893	42,286,643	514,250
流動資産	759,296,437	813,248,883	△ 53,952,446
現金預金	699,405,231	769,474,354	△ 70,069,123
その他の流動資産	59,891,206	43,774,529	16,116,677
資産の部合計	6,536,156,325	6,758,914,657	△ 222,758,332

負債の部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定負債	814,581,351	964,842,079	△ 150,260,728
長期借入金	293,050,000	422,780,000	△ 129,730,000
長期未払金	21,913,956	42,067,404	△ 20,153,448
退職給与引当金	499,617,395	499,994,675	△ 377,280
流動負債	718,154,080	752,623,118	△ 34,469,038
短期借入金	129,730,000	124,070,000	5,660,000
その他の流動負債	588,424,080	628,553,118	△ 40,129,038
負債の部合計	1,532,735,431	1,717,465,197	△ 184,729,766
純資産の部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
基本金	12,126,590,714	12,077,918,171	48,672,543
繰越収支差額	△ 7,123,169,820	△ 7,036,468,711	△ 86,701,109
純資産の部合計	5,003,420,894	5,041,449,460	△ 38,028,566
負債及び純資産の部合計	6,536,156,325	6,758,914,657	△ 222,758,332

(注記)

1. 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

徴収不能引当金

…未収入金、その他の流動資産の徴収不能に備えるため、個別に見積もった徴収不能見込額を計上している。

退職給与引当金

…退職金の支給に備えるため、期末要支給額 473,336,900 円の 100% を基にして、私立大学退職金財団に対する掛金の累積額と交付金の累積額との繰入れ調整額を加減した金額を計上している。

(2) その他の重要な会計方針

有価証券の評価基準及び評価方法

…移動平均法に基づく原価法である。

2. 重要な会計方針の変更等

なし

3. 減価償却額の累計額の合計額 6,625,700,362 円

4. 徴収不能引当金の合計額 20,000,000 円

5. 担保に供されている資産の種類及び額

担保に供されている資産の種類及び額は、次のとおりである。

土地 第五校舎	572.26 m ²	54,809,766 円	建物 第五校舎	1,930.06 m ²	149,890,770 円
土地 学生会館夕陽ヶ丘	500.72 m ²	16,358,522 円	建物 学生会館夕陽ヶ丘	1,019.13 m ²	29,407,302 円
土地 望雲寮	533.34 m ²	60,494,644 円	建物 望雲寮	1,989.55 m ²	6,798,586 円
土地 第二校舎	2,636.14 m ²	521,774,939 円	建物 第二校舎	5,922.19 m ²	1,255,847,064 円
土地 第三校舎	3,449.65 m ²	161,738,689 円	建物 第三校舎	7,412.61 m ²	1,057,669,983 円
土地 博物館分室	103.60 m ²	4,857,342 円	建物 博物館分室	386.05 m ²	34,592,516 円
土地 大学・短大グラウンド	6,491.00 m ²	24,690,231 円	計	18,659.59 m ²	2,534,206,221 円
計	14,286.71 m ²	844,724,133 円			

土地 クリプトメリア目黒 855.00 m² 35,796,285 円 *1

*1 収益事業の借入金 112,500,000 円に係るものである。

6. 翌会計年度以後の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額 283,081,981 円

7. 当該会計年度の末日において第4号基本金に相当する資金を有していない場合のその旨と対策
第4号基本金に相当する資金を有しており、該当しない。

8. その他財政及び経営の状況を正確に判断するために必要な事項

(1) 有価証券の時価情報

① 総括表

(単位 円)

	当年度 (令和2年3月31日)		
	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	0	0	0
(うち満期保有目的の債券)	(0)	(0)	(0)
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	1,000,0000	999,700	△300
(うち満期保有目的の債券)	(0)	(0)	(0)
合 計	1,000,000	999,700	△300
(うち満期保有目的の債券)	(0)	(0)	(0)
時価のない有価証券	0		
有価証券合計	1,000,000		

② 明細表

(単位 円)

種 類	当年度 (令和2年3月31日)		
	貸借対照表計上額	時 価	差 額
債券	0	0	0
株式	0	0	0
投資信託	1,000,000	999,700	△300
貸付信託	0	0	0
その他	0	0	0
合 計	1,000,000	999,700	△300
時価のない有価証券	0		
有価証券合計	1,000,000		

(2) 通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている所有権移転外ファイナンス・リース取引

①平成21年4月1日以降に開始したリース取引

リース物件の種類	リース料総額	未経過リース料期末残高
教育研究用機器備品	15,349,608 円	3,742,347 円
管理用機器備品	1,399,680 円	408,240 円

②平成21年3月31日以前に開始したリース取引 なし